

1 ミュージアム整備に向けた基本的考え方

藤子氏の作品の原画やそれに関連した資料などを通して、将来にわたり、氏の業績を顕彰するとともに、「夢」「希望」「友情」「勇気」「大いなる好奇心」、そして「人を愛するやさしい気持ち」等のメッセージを子どもから大人まで幅広い世代へ伝えていくための、世界に誇ることのできる文化施設として整備するものです。

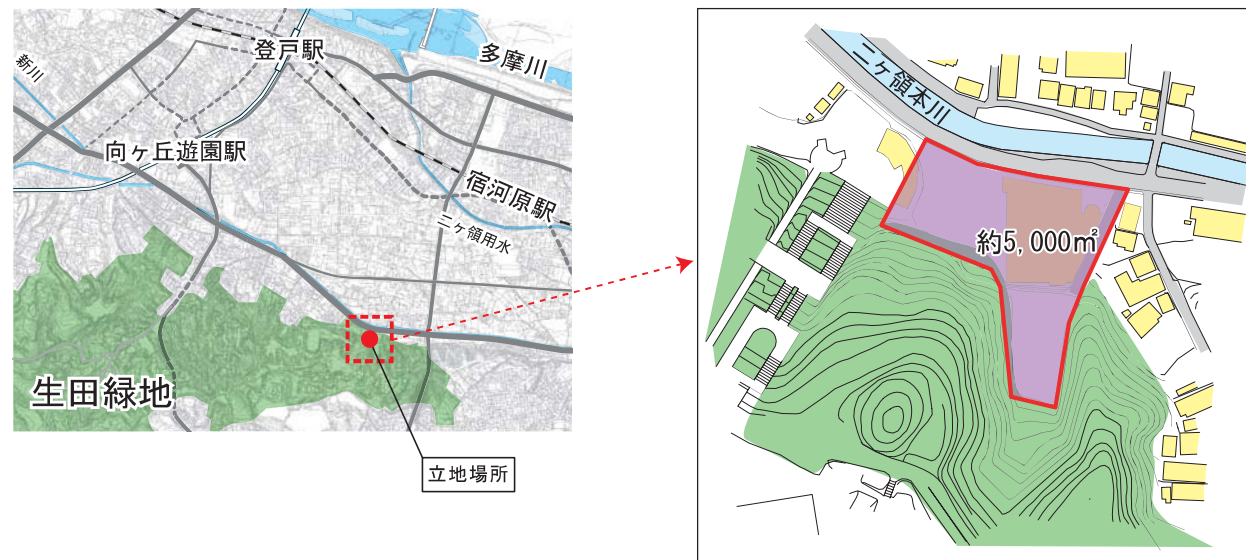
ミュージアムの基本理念

- ☐ まんが文化
- ☐ 遊びゴコロ
- ☐ SF—すこしふしぎ—
- ☐ コミュニケーション(ふれあい)
- ☐ 新しい発見
- ☐ 自然
- ☐ ホスピタリティ(おもてなし)



2 立地場所について

立地場所：川崎市多摩区長尾2丁目1271番1 他



《立地にあたっての視点》

- ① 緑地の自然保護に十分配慮し、新たな緑地の伐採を行わない場所
周辺の地域環境や交通渋滞への配慮から、原則として駐車場は設置しません。
- ② 鉄道駅及び道路アクセスの利便性の高い場所
向ヶ丘遊園駅、登戸駅、さらに宿河原駅が利用可能です。
利用者の利便性を考慮し、シャトルバスの運行について、検討を進めます。
- ③ 緑地周辺の自然施設・文化施設などへの回遊性

※立地場所は小田急電鉄の所有地であり、川崎市が借地する予定です。

3 建築計画について

(1) 計画概要

- 地域・地区 第二種住居地域
- 主要用途 美術館
- 敷地面積 約 5,000㎡

(2) 建築概要 ※現時点での想定

- 建築面積 1,900㎡
- 延床面積 3,300㎡
- 階数 3階(最高高さ 16m)
- 構造 鉄筋コンクリート造

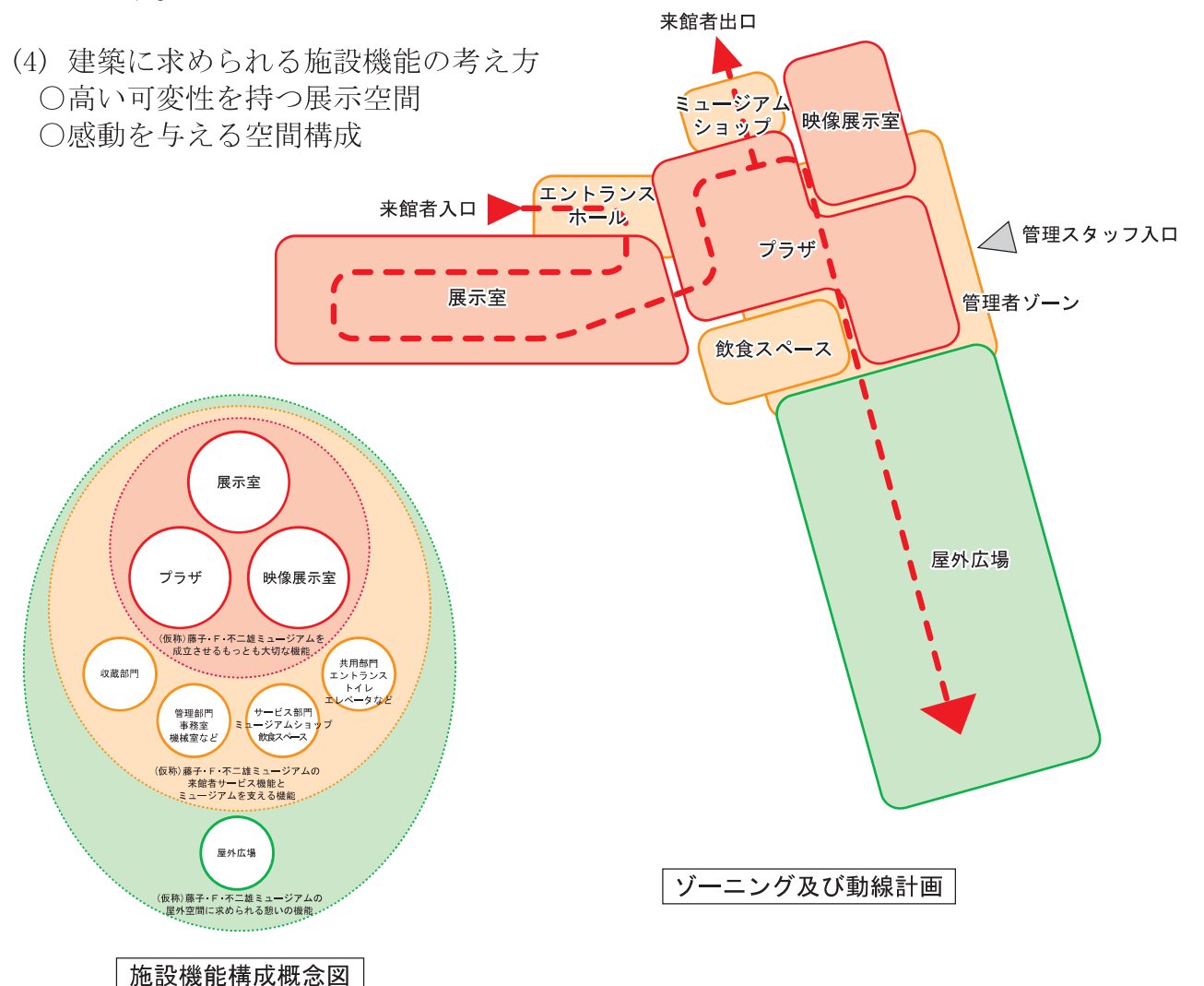
(3) ランドスケープ及び環境計画

建築と環境の一体化する風景を創出し、豊かな自然環境を建築空間に取り込むデザインとします。

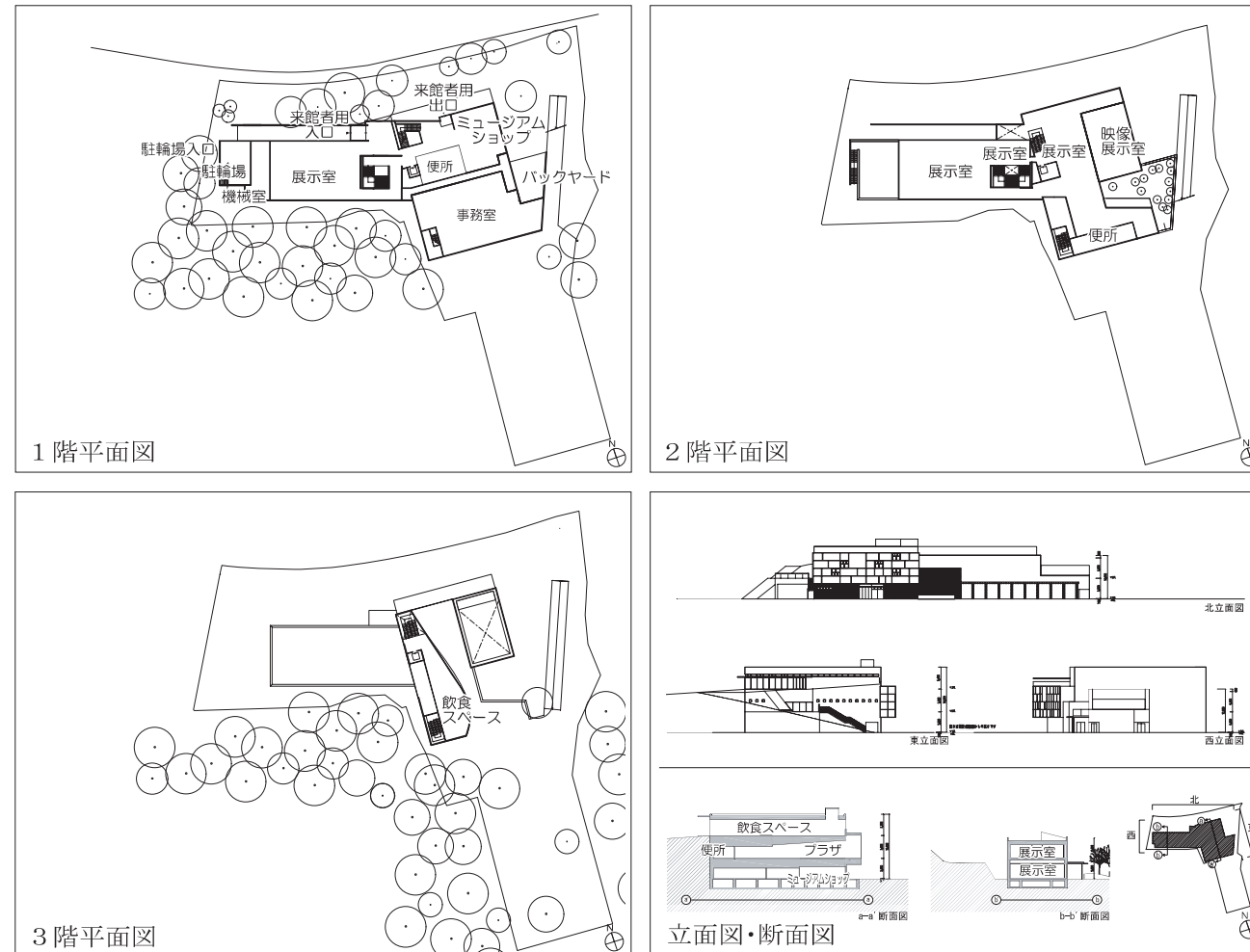
また、太陽光などの自然エネルギーの活用も検討し、省エネルギーに配慮した設計とします。

(4) 建築に求められる施設機能の考え方

- 高い可変性を持つ展示空間
- 感動を与える空間構成



(5) 設計図面



(6) 施設機能構成概要

【延床面積】	約 3,300㎡（現時点での想定）	
【機能】	展示部門（920㎡）	（展示室）
	交流部門（650㎡）	（プラザ、映像展示室）
	サービス部門（260㎡）	（飲食スペース、ミュージアムショップ）
	収蔵・管理部門（950㎡）	（一般・特別収蔵庫、荷受・荷解室、事務室 他）
	共用部門（520㎡）	（エントランス、受付、トイレ 他）

4 展示計画について

(1) ミュージアムの基本機能

- ① 「収集・保管」機能 ② 「展示・公開」機能
- ③ 「調査・研究」機能 ④ 「広報・普及」機能

(2) ミュージアムの活動

「知る」「感じる」「楽しむ」を柱とした活動を展開

(3) 展示計画

- ① アプローチ ～ミュージアムへ来館者を導く空間～
- ② エントランス ～「藤子・F・不二雄氏」を象徴する展示空間～
- ③ 展示 ○代表作の原画を展示 ○書斎を再現 ○テーマによって展示を構成
- ④ プラザ ～まんがを読めるライブラリー～
- ⑤ 映像展示 ～オリジナル短編アニメを上映～
- ⑥ 屋外広場 ～「いつもの空き地」のような広場～
- ⑦ 飲食スペース ～心を開いてくつろげる場～
- ⑧ ミュージアムショップ
～限定グッズもあるオリジナルショップ～
- ⑨ 収蔵スペース
～さまざまな作品の収集・保存～



5 運営計画

(1) 運営の基本的な考え方

平成18年の基本合意に基づき、藤子プロを含めた民間活力を活用することを基本とし、建物整備及び運営は民間主導、土地・基盤整備は市主導とします。

具体的には、藤子プロが関係各社と連携し、指定管理者制度を基本とした運営組織を構築することを想定しています。

(2) 営業計画

より快適なミュージアム体験を実現するために基本的に予約制とします。

1日の入場時間を4回と設定し、1回の収容人数を最大500人程度で、1日2,000人程度、年間50万人を目標とした集客計画について、検討を進めます。

6 今後のスケジュール

平成21年度

- ・基本設計、実施設計（建物整備主体が実施）

平成22年度

- ・着工（建物整備主体が実施）
- ・公の施設の設置条例 ・指定管理者選定議案

平成23年度

- ・竣工・開館